

一般社団法人日本内科学会平成31年度第1回理事会議事録

1. 日時 平成31年3月22日(金)14時～16時10分

2. 場所 東京都文京区本郷3丁目28番8号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室

3. 理事総数 19名 出席した理事の数 16名

出席者 [理事]

矢富 裕(理事長)、高橋弘毅、下川宏明、伊藤 裕、小池和彦、小室一成、持田 智、成田一衛、清水雅仁、長谷川好規(副理事長)、梶波康二、赤水尚史、竹原徹郎、樋口和秀、木原康樹、寺田典生、の16名

[監事]

門田淳一、長谷部直幸の2名

[その他出席者]

橋本直純(第116回講演会準備委員長)、金井隆典(第117回講演会準備委員長)、

宮崎俊一(専門医制度審議会副会長)川名明彦(和文誌編集主任)、須永眞司(専門医部会会長)の5名

欠席者 [理事]

福田恵一(副理事長)、北園孝成、田中良哉の3名

[監事]

竹内 勤の1名

4. 議事の経過及び結果

矢富 裕理事長が議長となり、次の20議案について逐次審議することとなった。

第1議案 平成30年度事業報告

議長より、別紙事業報告があり、承認を得た。

第2議案 平成30年度会計決算報告および監査報告

小池財務・組織管理担当理事より、別紙会計報告と、門田監事より監査報告があり、承認を得た。

第3議案 学術集会運営委員会関係報告

樋口委員長より、委員会の年次報告、長谷川第116回講演会会長より、第116回講演会について、金井第117回講演会準備委員長より、第117回講演会および第47回内科学の展望についての報告があり、了承を得た。

第4議案 学会在り方検討委員会関係報告

梶波委員長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。議長より本委員会が所管のワーキンググループの報告に関連して本会には働き方改革に関して議論する委員会がないことから、男女共同参画ワーキンググループを「男女共同参画・医師の働き方改革ワーキンググループ」として議論を進めていきたいとの発言があった。また、下川理事より日本医学会連合の働き方改革に関する講演会について講演要旨の説明がなされた。

第5議案 生涯教育委員会関係報告

長谷川委員長より、委員会の年次報告と平成31年度の開催計画の報告があり、了承を得た。

第6議案 専門医制度審議会関係事項

宮崎審議会副会長より、専門医制度審議会と試験委員会、救急委員会の年次報告があり、承認を得た。日本リウマチ学会からの本会と連名でリウマチ科の講座開設、診療科開設を求める要望書を出す要請については、J-OSLERの研修実績を見る限り問題ないため差し控えることを確認したとの報告があり、本理事会でも承認された。

第7議案 専門医部会関係報告

須永専門医部会会長より、平成30年度の事業報告および平成31年度の事業計画等について報告があり、了承を得た。

第8議案 学術誌編集委員会関係事項

(1) 日本内科学会雑誌編集委員会報告

川名編集主任より、委員会の年次報告と今後の発行予定等の報告があり、了承を得た。臨床研究法への対応として執筆要領へ追加する文言については、原案の通り承認された。また、特集号のテーマとして漢方を取り上げることについて意見を求めたところ、理事会としては、「医学と医療の最前線」などの企画の論文の一つとして取り上げるのは良いが、特集号のテーマに取り上げるにはエビデンスも少なく時期尚早であるとの結論となった。

(2) Internal Medicine 編集委員会報告

赤水編集主任より、委員会の年次報告と電子ジャーナル掲載状況等の報告があり、了承を得た。

第9議案 総務委員会関係報告

(1) 本年度委員会報告

議長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。

(2) 新規委員会の設置について(規程変更を含む)

議長より、総務委員会内にあった倫理・医療安全委員会について平成31年4月26日をもって廃止し、独立させて新たに倫理委員会と医療安全委員会として立ち上げたいとの説明の後、倫理委員会、医療安全委員会の各委員会規程案について提案があり、承認を得た。

(3) 倫理・医療安全委員会関係事項

議長より、厚生労働省の行政処分（平成 31 年 2 月 13 日発効）を受けた会員 1 名に対しては、配布資料の通り処分したいとの提案があり、承認を得た。

第 10 議案 財務・組織管理委員会関係報告

議長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。

第 11 議案 支部関係報告

木原担当理事より、平成 30 年度の支部代表者会議と平成 31 年度の各支部宛助成金額、各地方会の開催状況の報告があり、了承を得た。

第 12 議案 平成 31 年度評議員候補者推薦について

議長より、大学からの候補者、教育施設からの候補者、その他の支部推薦の候補者および本会の運営に必要な者について総務委員会で審査を行ったこと、また、女性教授について対象を寄附講座を除いた常勤の内科教授とし、「特任教授」、「病院教授」、「診療教授」、「臨床教授」を含めて大学の女性教授の有無についてアンケートを実施した結果、平成 30 年度の大学 26 名、教育施設 6 名、支部推薦 18 名の計 50 名から平成 31 年度は大学 32 名、教育施設 3 名、支部推薦 19 名の計 54 名へと女性比率（7.5%→8.0%）がアップしたことの報告の後、別紙記載の通り平成 31 年度の評議員を委嘱したいとの提案があり、承認を得た。

第 13 議案 平成 31 年度理事、監事、各委員会委員候補者推薦について

議長より、各支部から推薦のあった別紙記載の方々に平成 31 年度の理事を委嘱するよう定時総会に諮ることを提案があり、承認を得た。監事については、退任する竹内 勤に代わり成田一衛（新潟大学）に委嘱するよう定時総会に諮ることを提案があり、承認を得た。各種委員会委員については、各支部から推薦のあった別紙記載の方々に専門医制度審議会、学会在り方検討委員会、生涯教育委員会の各委員会委員を委嘱したいとの発言があり、了承を得た。また、学会誌編集委員会委員については提案どおり委嘱することで了承を得た。なお、総務委員会、学術集会運営委員会委員については、規程の通り定例評議員会で選挙にて選出することで了承を得た。

第 14 議案 理事会推薦理事の推薦について

議長より、約 113,000 名の会員中、女性会員が 25,000 名（22%）いるのに対し、理事には一人も女性理事がいないため、男女共同参画の観点から理事会に関する規程第 4 条により名越澄子（埼玉医科大学）を理事会推薦の理事として推薦したいとの提案があり、承認を得た。なお、名越理事候補者については、本年 4 月に開催の定時総会へ諮ることとした。

第 15 議案 平成 31 年度関係団体への本会代表委員および専門委員について

議長より、別紙記載の方に平成 31 年度関係団体への本会代表委員および専門委員を委嘱することの提案があり、承認を得た。

第 16 議案 定例評議員会および平成 31 年定時総会の運営について

議長より、議案説明担当者の確認と関連会議の開催の確認があり、了承を得た。

第 17 議案 新入会者の件

議長より、平成 30 年 12 月 11 日から本年 3 月 20 日までに 785 名の入会者があったとの報告があり、了承を得た。

第 18 議案 会員資格喪失の件

議長より、定款第 12 条第 1 項第 5 号の会費未納による会員資格喪失の件を定時総会に諮ることの提案があり、承認を得た。

第 19 議案 関連団体関連事項

(1) 日本専門医機構関係報告

宮崎審議会副会長より、日本専門医機構の年次報告と現況についての報告があり、了承を得た。また、医道審議会（医師分科会医師専門研修部会）が、内科や外科などジェネラルな基本領域とサブスペシャリティとの「連動研修」を取り上げた経緯について説明の後、本会としては既に日本専門医機構が認定したサブスペシャリティ領域については、「連動研修」を前提に内科医養成の準備を進めていることもあり、現実的対応として新制度における内科専門研修を堅持する声明を公表したとの報告があり、了承を得た。

(2) 内科系学会社会保険連合関係報告

事務局より、内科系学会社会保険連合の年次報告があり、了承を得た。

(3) 日本医学会連合関係報告

議長より、日本医学会連合の年次報告があり、了承を得た。

(4) 国際内科学会議関係報告

議長より、国際内科学会の役員、国際内科学会議の今後の開催予定等について報告があり、了承を得た。

第 20 議案 その他

(1) 「AI による診断支援システムの開発」について

事務局より、本会が症例提供により協力している AI による診断支援システムについて、完成が近いことから第 116 回講演会の際に緊急特別講演として開発責任者の永井良三先生が内容を紹介する講演を行うとの報告があり、承認を得た。

(2) 今後の理事会等開催予定

議長より、今後の理事会等開催日程について説明・報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

平成 31 年 3 月 22 日

一般社団法人日本内科学会理事会 議 長（理事長） 矢富 裕

議事録署名人（監 事） 門田 淳一

議事録署名人（監 事） 長谷部直幸